

10月例会を終え

主幹 青少年育成委員会 委員長 畠山武将



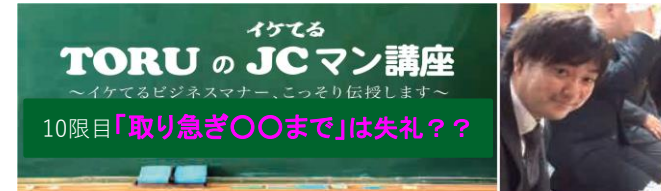
さわやかな秋となり始めたころ青少年育成委員会担当の10月例会が行われました。10月例会趣旨1つ目と致しまして「郷土一関の魅力を郷土一関の自然を利用し体験していただく」2つ目と致しまして「学校や家庭では体験できないことを郷土一関の大自然に抱かれながら、気持ちの置き方、物の考え方、達成感を新たに感じていただく」3つ目と致しまして「子供達の笑顔を追求め仲間作りを通じて子供達同士の絆を新たに築くこと」を考えました。これらのことより普段の生活ではできない須川岳登山、BBQキャンプファイヤー、工作室でのものづくり、屋外炊飯をしていただき郷土一関の頂から市内を見下ろすことで視野を広げ、自分自身の存在意義を感じてもらい新たに気持ちの置き方を考えていただき、また子供達同士の絆を新たに築いてもらうために登山を通じて達成感を感じてもらおうと考え今回の事業を企画致しました。

当日は天候にも恵まれ全員登頂成功とはいかないまでもほぼ登頂成功をし頂から見た自分達の住まう一関の小ささを感じてもらい世の中への視野が広がったのではないかと思います。それによってこれからの児童の悩みや心配事が払拭され困難に立ち向かえる力になれば幸いです。結びに児童43名を一関の頂へ登山させ下山をし火を使ったBBQ、屋外炊飯、キャンプファイヤー、工具を使ったものづくりをさせ無事に事業が終えることができたのもボランティアスタッフ12名を含め多くのご参加をいただきましたメンバー皆様のお力添えなくしてはなしえなかった事と存じます。ご尽力いただきました事はこれからの青年会議所活動でお返しさせていただき所存でございます。簡単ではありますが委員長挨拶とかえさせていただきます。重ね重ねお力添えいただきました多くの皆様には厚く御礼申し上げます。



理事長の今月の格言

人間、出来ない理由を言うから、出来なくなる。お金がない、人脈がない、経験がない、無いこと言い出せば、きりが無い。世の中、できない理由を言うやつは、いつまでも出来ない。しかし、夢を叶えるやつは「こそ」と言う。だからこそ、今できることをやる。
by 中村文昭



メール等で「取り急ぎ」は、急用でも失礼のないように用件を伝えられる便利な言葉ですが、省略の意であることを忘れてはいけません。「取り急ぎ」には、「もろもろの儀礼・説明を省略し用件だけを伝える意」という意味があり、親しい先輩や同僚には使っても問題ありませんが、目上の方や取引先の人に使うのは失礼にあたります。「まずは、〇〇申し上げます」「〇〇のみにて、失礼いたします」と書くようにしましょう。
このコーナーも残り2回?ビジネスマナーが身につけてきましたね!

震災があった年の夏のある日、私はホームマックにボールペンを買に行き、犬を買って帰った。そう、出会ってしまったのだ!いつものようにペット売り場を何気なく歩いていると、ガラス越しに彼を見つけた。目が合った...ズキューン!射抜かれてしまったのだ!!小型のホルスタインの様な豚の様な私好みのプサイクな犬。そして、ボールペンを買わずに一匹の犬を連れて帰ってしまった。それからは大変な毎日だった。ある日、店から帰ると家中を何者かに荒らされた形跡。一瞬泥棒か!と思ったが、ケージから脱走した愛犬が犯人だった。仕立てたばかりの新しいスーツ2着が、犯されまくって広がっていた。震災3日前生まれの彼は現在6歳半。だいぶ大人しくなってきたが気を許せない。毎日全力で甘えてくる彼は大事な家族となった。



さて、今回で3回目となります!今月はどこに行ったかといわれると、特に行ってない...家族サービスをばっしてない。しかし、JCでは、3日連続での盛岡への車での移動でした。1日目は仕事を抜け出たの盛岡滞在5分間。2日目は雨の中の会員会議所会議+衆議院選挙立候補予定者への政策の撮影。3日目も2人の衆議院議員立候補予定者への政策の撮影。しかも、16時から20時からという無駄な時間...とJCを満喫した10月でした!そして、JCだけではなく、奥様の実家の稲刈りの手伝いに!米を作るというのはとても労力がある作業です!皆さんはやったことがありますか?僕は何度かやっていますが、とても大変です。コメは買ったほうがいいというのが僕の持論です!それだけ大変なことですので、勘違いしないでください!大変と感じたその時、コンバインが故障...すぐにYOOマーへ連絡して、予備のコンバインを持ってきていただいたが、4条刈り。使っているのは3条刈り...田んぼに対しての機械がデカすぎる。金額はなんと900万円。年に1週間も使えばいいほうなのに、その値段。トラクター、コンバイン、田植え機、乾燥機etc...労力だけでなくお金もかかる。と再認識した稲作。しかし、一関の基幹産業である農業は欠かせない!次年度は農業に対する事業も次年度理事長は力を入れるとのこと!今後の一関JCの事業も地域に必要とされる事業になること間違いなし!

青年会議所 JCとは

青年会議所(JC)は「明るい豊かな社会」の実現を理想とし、次代の担い手たる責任感をもった20歳から40歳までの青年の団体です。人種、国籍、性別、職業、宗教の別なく、自由な個人の意志によりその居住する各都市の青年会議所に入会できます。日本の青年会議所運動は、現在697の地域約36,000名の会員を擁し、全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所が東京にあります。全世界に及ぶこの青年運動の中枢は国際青年会議所ですが、100以上の国及び地域に117のNOM(国家青年会議所)があり、約16万人の会員が国際的な連携をもって活動しています。日本青年会議所の事業目標は、「社会と人間の開発」です。その具体的事業としてわれわれは市民社会の一員として、市民の共感を求め社会開発計画による日常活動を展開し、「自由」を基盤とした民主的集団指導力の開発を推し進めています。さらに日本の独立と民主主義を守り、自由経済体制の確立による豊かな社会を創り出すため、市民運動の先頭に立ち進む団体、それが青年会議所です。

10回目 浅野流

私が8年以上前からやっているにも関わらず全く上達しないスポーツの「ゴルフ」(〃)先日のYEGコンペで何人かのメンバーと参加してきました(*^*)私のパーティは理事長公正さんと曾根君の3人☆公正さんの絶対当たりそうにもないのに当たる面白いフォームや、愛くるしい仕事のおかげで私の緊張もほぐれ(爆笑して)、曾根君の優し的確なアドバイスのおかげで人生初のグロス123でした!やっぱり回数行ってる人は上手い!皆、年40回以上は行ってる(〃)私もそれくらいコースに出ないと上手くならないうらな(ノド)と、思っていました!が蜂谷さんが今年初のコンペのせにクラブも握ってもないくせに103!!センスがあるのかなんなのか運動神経なのか分からないけど、彼は何か持っている...何か底知れぬものを持っている気がする...(〃)公正さんは毎日練習して91。蜂谷さんが本気だしたらすぐに抜かれる気が(〃)よく「ゴルフはスポーツにならない、打って、カートに乗って、打って」の繰り返しでしょ?という人がいるけど、それは上手い人の話。大体は「打って、ボールを探しながらクラブを数本持つて歩く」の繰り返し。最初の頃は常にキャディーをつけていたので、自らボールも探さないクラブも自分で選ばない、カートも運転しない、グリーンでは手を出せば拭いてくれたボールとパターを渡され、アドバイスをもらって打つのが当然だった私。初めて友達と回った時同じ立ち振る舞いをしたら「姫か!!(〃)」と驚愕されました。今では自分でクラブも選べるしボールも探せます(*^*)いつか「趣味はなんですか?」と聞かれた時『ゴルフかな』とカッコ良くサラッと行ってみたい!

